



特 許 願

昭和50年10月28日

特許庁長官 斎藤 英 雄 殿

1. 発 明 の 名 称
ワンマン車専用陳列棚

2. 発 明 者

住 所 特許出願人と同じ

氏 名

3. 特 許 出 願 人

住 所 東京都世田谷区三軒茶屋2-40-7

氏 名 幸 島

4. 代 理 人

住 所 〒105 東京都港区芝罘平町1番地
虎ノ門産業ビル TEL(501)2809

氏 名 (6208) 弁理士 岡 本 重 文 (2名)



方 式
審 査

明 細 書

1. [発 明 の 名 称]

運搬車兼用陳列棚

2. [特 許 請 求 の 範 囲]

前面が開放され下部台盤に移動車輪を具えた棚板支持体、同棚板支持体の左右両側枠に各段毎に対設された夫々上下各軌条片の重層された棚板案内軌条、同各棚板案内軌条の上下各軌条片に夫々前後方向に移動自在なように装架された上部棚板及び下部棚板よりなり、同上下棚板は互いに重合された状態で前記棚板支持体の前端及び後端に引出し、押込まれるように構成されたことを特徴とする運搬車兼用陳列棚。

3. [発 明 の 詳 細 な 説 明]

本発明は前面が開放され下部台盤に移動車輪を

⑭ 日本国特許庁

公開特許公報

⑪特開昭 52-53700

⑬公開日 昭52.(1977) 4.30

⑫特願昭 50-128837

⑫出願日 昭50.(1975) 10.28

審査請求 有 (全4頁)

庁内整理番号

5732 38

6553 36

⑫日本分類

101 J7
82 A31

⑫Int.Cl²

A47F 5/00
B62B 3/00

識別
記号

具えた棚板支持体、同棚板支持体の左右両側枠に各段毎に対設された夫々上下各軌条片の重層された棚板案内軌条、同各棚板案内軌条の上下各軌条片に夫々前後方向に移動自在なように装架された上部棚板及び下部棚板よりなり、同上下棚板は互いに重合された状態で前記棚板支持体の前端及び後端に引出し、押込まれるように構成されたことを特徴とする運搬車兼用陳列棚に係り、その目的とするところは物品の補充、販売能率がよく、運搬車を兼用する新規有用な運搬車兼用陳列棚を供する点にある。

以下本発明を図示の実施例について説明する。

(A)は棚支持体で、移動車輪(1)を具えた台盤(2)上に左右両側枠(3)(3)が立設され、同各側枠(3)(3)の頂部枠片(4)が後端部において連結されている。

前記各側枠(3)(3)の対向面には上下方向に互り所
要段数の棚板案内軌条(4)が配設されている。

前記軌条(3)はその上端水平折曲片(5)が側枠(3)の
堅枠片(3a)に嵌挿固着された垂直片(6)の下端より、
水平に延設した下部軌条片(7)と、前記垂直片(6)に
取付けられたアングル片よりなる上部軌条片(8)と
より構成されている。

前記棚板支持体(A)の最下段を除く各段毎に、上
部軌条片(8)上を前後方向に移動する上部棚板(C)と
下部軌条片(7)上を前後方向に移動する下部棚板(D)
が装架されている。

前記上部棚板(C)にはその両側に上部軌条片(8)上
を転動する転輪(9)が装架され、中央には下部棚板
(D)上を転動する転輪(10)が装架され、後端縁には物
品の転落防止枠(11)が立設されている。12は前記棚

(第5B図参照)

次いで商品を載架した前記第2段目の上部棚板
(C)を奥部に後退させ、下部棚板(D)に商品(P)を載架
し、(第5C図参照)次いで第3段目の上下両棚
板(C)(D)を重合した状態で前方に引出して上部棚板
(C)に商品(P)を載架し、(第5D図参照)以下同様
にして順次第5E図、第5F図に示す状態を経て
第5G図に示す棚板支持体(A)に商品(P)を満載した
状態とする。

次に販売時には、最上段の下部棚板(D)上の商品
(P)の販売が完了すると、商品(P)を載架した同段の
上部棚板(C)を引出して空になつた下部棚板(D)上に
重合させ、(第5F図参照)同下部棚板(D)上の商
品(P)も売切れると、前記上下両棚板(C)(D)を重合状
態のまま奥部に後退せしめる。(第5E図参照)

板(C)前面に設けられた手掛部である。

また下部棚板(D)の内側には、下部軌条片(7)上を
転動する転輪(13)が装架され、その前方には物品の
転落防止を兼用する把手枠(14)が立設されている。

なお台盤(2)上においては下部棚板及び下部軌条
片が省略され、台盤(2)上を単一の棚板(C')が前後
方向に摺動するように構成され、台盤(2)の前端に
は物品の転落防止枠片(15)が立設されている。

本発明は前記のように構成されているので商品
を補充する際には最下段の棚板(C')を前方に引出
してこれに商品(P)を載架し、(第5A図参照)次
いで同棚板(C')を台盤(2)の奥に移動させて台盤(2)
の前半上部に商品(P)を載架し、更にその上段に当
る第2段目の上下両棚板(C)(D)を重合した状態で前
方に引出して上部棚板(C)上に商品(P)を載架する。

次いで第3段目の下部棚板(D)上の商品(P)が売切
れると、空になつた同F部棚板(D)上に商品(P)を載
架した上部棚板(C)を引出して重合せしめ、(第5
D図参照)同第3段目の上部棚板(C)上の商品(P)も
売切れると上下両棚板(C)を重合した状態で奥部に
後退させ、(第5C図参照)以下順次第5B図及
び第5A図に示す状態を経て棚板支持体(A)に収容
された商品(P)を販売するものである。

本発明においては前記したように、前面の開放
された棚板支持体の両側枠の各段毎に対設された
棚板案内軌条が夫々上下軌条片より構成され、同
各上下軌条片を各段の棚板部を2分した上部棚板
と下部棚板とが前後方向に移動自在に装架されて
いるので、前述の如く物品の補充、販売が順序よ
く整然と合理的に行なわれるものであり、また前

配棚板支持体の台盤には移動車輪が装架されているので、所望の箇所に物品を運搬しうるものである等、本発明は多くの利点を有するものである。

以上本発明を実施例について説明したが、本発明は勿論このような実施例にだけ局限されるものではなく、本発明の精神を逸脱しない範囲内で、種々の設計の改変を施しうるものである。

4. [図面の簡単な説明]

第1図は本発明に係る運搬車兼用陳列棚の実施例の斜视图、第2図はその棚板及びその案内部の分解斜视图、第3図はその要部縦断面図、第4図はその要部横断面図、第5A図乃至第5G図は前記陳列棚による商品補充及び販売順序を示す説明図である。

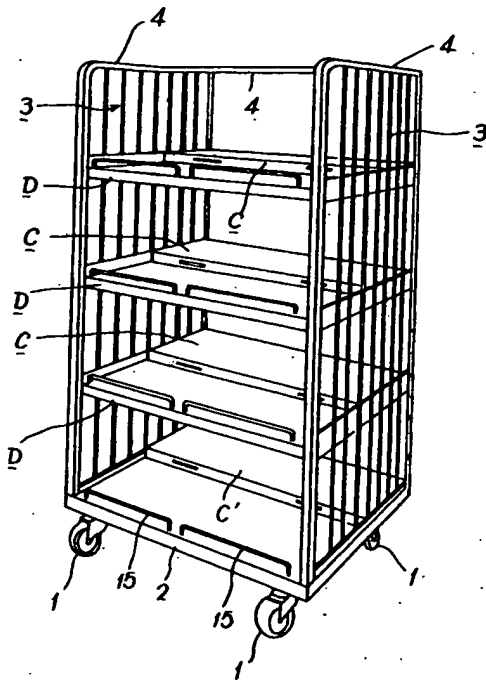
(A) ... 棚板支持体、 (B) ... 棚板案内軌条、

(C) ... 上部棚板、
(1) ... 移動車輪、
(3) ... 側枠、
(8) ... 上部軌条片。

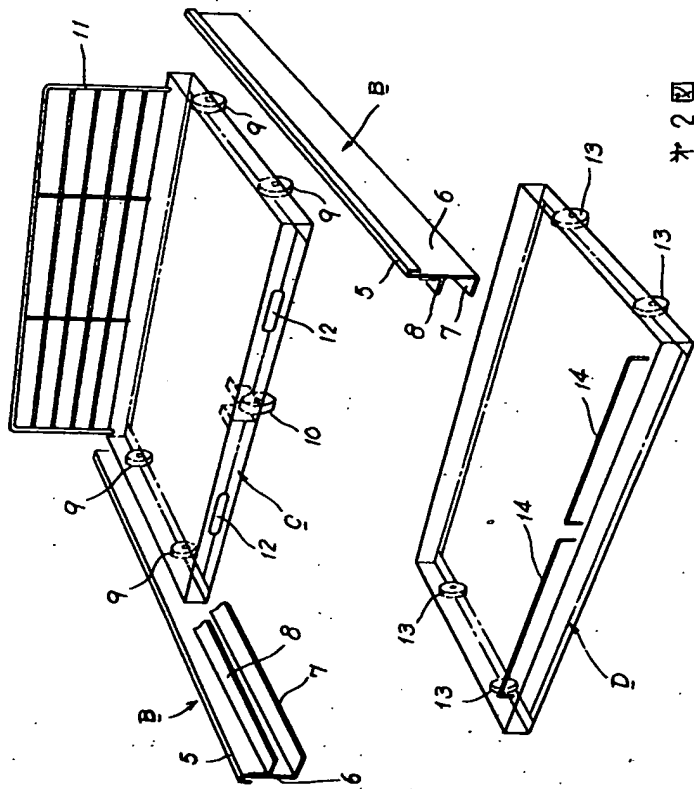
(D) ... 下部棚板、
(2) ... 台盤、
(7) ... 下部軌条片。

代理人 弁理士 岡 本 重 文

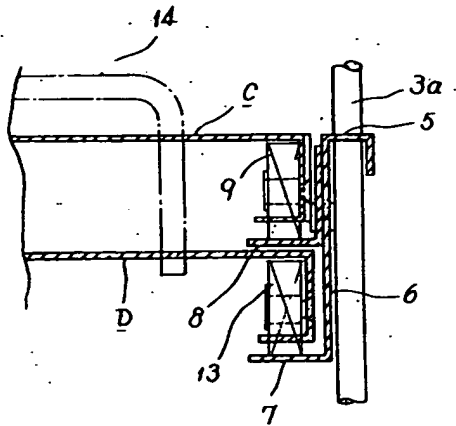
外 2 名



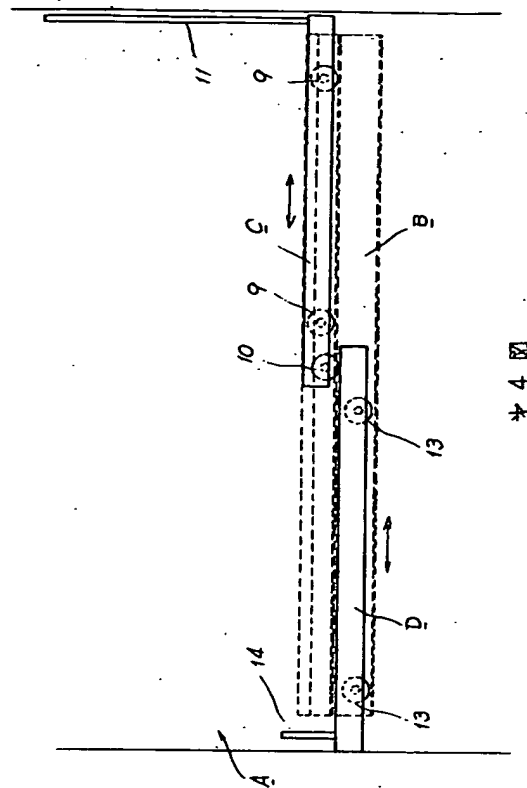
第 1 図



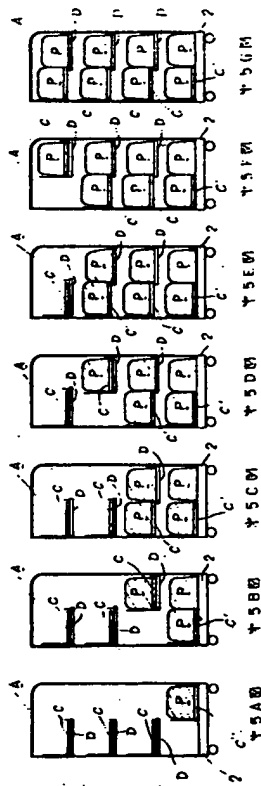
第 2 図



★ 3 図



★ 4 図



5. 添附書類の目録

(1)	明細書	1	通
(2)	図面	1	通
(3)	願書副本	1	通
(4)	委任状	1	通
(5)	出願審査請求書	1	通

字消す

6. 前記以外の発明者、代理人

(1) 発明者

(2) 代理人

住 所 〒105 東京都港区芝罘平町1番地
 虎ノ門産業ビル TEL(501)2809
 氏 名 (6784) 弁理士 江 原 望
 住 所 同 所
 氏 名 (6880) 弁理士 松 本 敏 明